



※基準薬剤の倍数に誤りがありましたので、訂正いたします。

りんご生産情報号外  
(薬剤散布について)

令和8年4月3日発表  
青森県「農林水産力」強化本部

**展葉かなり早まる！  
「ふじの展葉1週間後頃」の薬剤散布は適期に！！**

気温が高く推移しており、ジョナゴールドの展葉日は、黒石（りんご研究所）で平年より11日早い4月2日であった。剪定や枝片付けを急ぐとともに、「ふじの展葉1週間後頃」の薬剤散布は、遅れないように適期に実施する。

発芽日 (月. 日)

地域	年	つがる	ジョナゴールド	王林	ふじ
黒石 (りんご研)	本年	3.27	3.26	3.27	3.30
	平年	4.5	4.3	4.5	4.6
	前年	4.4	3.31	4.3	4.7
五戸 (県南果樹部)	本年	3.31	3.27	3.31	3.31
	平年	4.6	4.4	4.5	4.6
	前年	4.4	4.1	4.3	4.4

注) 発芽日：頂芽の頂部が破れ、青味の現れたものが3個以上認められたとき

展葉日 (4月2日現在) (月. 日)

地域	年	つがる	ジョナゴールド	王林	ふじ
黒石 (りんご研)	本年		4.2		
	平年	4.18	4.13	4.14	4.16
	前年	4.14	4.10	4.11	4.14
五戸 (県南果樹部)	本年				
	平年	4.20	4.15	4.16	4.18
	前年	4.17	4.11	4.13	4.17

注) 展葉日：正しい葉形が一枚でも認められたとき

平年値：発芽日、展葉日ともに2006年～2025年の20か年平均

## 薬剤散布

### 第1回目：「ふじの展葉1週間後頃」

地域	散布時期	基準薬剤	散布量/10a
黒石 弘前	ふじの展葉 1週間後頃	マシン油乳剤 200倍	3000
		トップジンM水和剤 1,000倍	
		又はベンレート水和剤 2,000倍	
		チウラム剤 500倍	

※チウラム剤：チオノックフロアブル、トレノックスフロアブル

リンゴクビレアブラムシの発生が多い園地では、バリアード顆粒水和剤4,000倍も使用する。キンモンホソガ、ギンモンハモグリガの発生が多い場合は、デミリン水和剤4,000倍、ノーモルト乳剤4,000倍またはバリアード顆粒水和剤4,000倍も使用する。

前年にクワコナカイガラムシの果実被害が見られた園地では、アプロードフロアブル1,000倍も使用する。

発芽前にマシン油乳剤50倍を散布した園地では、「ふじの展葉1週間後頃」のマシン油乳剤200倍の散布は必要ない。

### 《 春の農作業安全運動展開中！（4～5月） 》

県では、春の農繁期を迎えるに当たり、農業機械等による事故を防止するため、「春の農作業安全運動」を展開しています。  
農作業安全のポイントを意識しながら、「みんなで声かけ！安全確認」を心がけ、安全第一で農作業事故をなくしましょう。

### 《 ツキノワグマ出没注意報発令中！！（4月1日～11月30日） 》

- ・1人での作業をできるだけ避け、ラジオやクマよけスプレーを携帯するなど、人身被害の防止に努めましょう。
- ・果実等の収穫残さや弁当の空容器などは、クマを引き寄せる原因となるため、農地に放置せず、適切に処理しましょう。
- ・農地周辺の藪を刈払って見通しを良くすることで、クマの隠れ場所を無くし、クマが農地に近づきにくい環境を整えましょう。
- ・詳細は県ホームページをご確認ください。  
([https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/shizen/kuma\\_cyuu.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/shizen/kuma_cyuu.html))

### 《 農薬使用基準の遵守 》

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

農林水産省「農薬登録情報提供システム」(<https://pesticide.maff.go.jp/>)

農薬の使用にあたっては、事前に周辺住民に対し、農薬の散布日時や使用者の連絡先等を十分な時間的余裕を持って知らせる。また、農薬の飛散により、周辺作物や近隣の住宅等に被害を及ぼすことのないように農薬飛散低減対策に留意して散布する。

《 モモシンクイガ等防除のため、交信攪乱剤の積極的な利用を！ 》

交信攪乱剤（コンフューザーR）は、

- ①温暖化でモモシンクイガの被害が増えていること
- ②農薬の再評価制度に伴い、使用可能な殺虫剤が減少しつつあること
- ③薬剤抵抗性害虫が顕在化していること

などの理由により、令和6年からりんご病害虫防除暦の基準薬剤となりました。

ハマキムシ類やシンクイムシ類など複数の害虫への効果が期待できますので、  
ぜひ自園地へコンフューザーRを導入してください。

連絡先：りんご果樹課生産振興グループ

電話番号：017-722-1111代表

内線5144、5149

017-734-9492直通